

# 平成26年度 南魚沼郡市総合部 活動報告

部長 大津 政好

## 1 研究主題

南魚沼郡市の素材を活かした総合的な学習の時間の工夫（4年目）

## 2 研究の概要

研究主題達成のために、以下の取り組みを行う。

- (1) 南魚沼市学習指導センターの研修講座や共催研修会に参加する。
- (2) 研究部員が校内研修等で「総合的な学習」の研究授業を行う場合には、支障がなければ他校の研究部員に案内を出して、可能な限り参加しあう。

## 3 研究の実際

- (1) 南魚沼市学習指導センター研修講座（総合部共催） 4月24日（木）15:00～  
テーマ：「われら南魚総合探検隊」 会場：中之島小学校  
内容：常山昭男先生（中之島小）の講話と小川茂先生（中之島小）、吉田由紀子先生（五日町小）の実践発表から、総合の大枠をつかむことの大切さや題材・テーマの決め方、具体的な実践の進め方、活動のまとめ方等について研修した。

- (2) 郡市小学校新教育課程研究集会 8月20日（水）13:30～

### <情報交換>

- ①自己紹介と1学期の実践の成果と課題
- ②質疑等
- ③各自の気付き（付箋）
- ④まとめと発表
- ⑤アンケート

### <成果と課題>

- 小中の様子が分かり、参考になった。
- 小小、小中連携をさらに進め、もっとねらいや活動を焦点化したい。
- 児童生徒が総合の学習で変容していることが分かった。（アンケートから）
- △教師一人一人の力量とチームワークの向上が課題である。（アンケートから）



- (3) 部会研修 9月25日（木）15:00～ 会場：浦佐小学校

「本当の学びを考える」 田村 学（文科省初等中等教育局教育課程課教科調査官）

- ・全国学力・学習状況調査のクロス集計から、総合的な学習の時間で「探求的な学習」が充実している学校の学力は高い。また PISA 調査でも、小学校から「総合」を学んできている子どもたちの学力は高くなっていることが証明された。
- ・「体験」を通して学ぶ総合では、インプットした体験や言葉を言葉や図表等でアウトプットする学習が行われる。この繰り返しが思考力・判断力・表現力を高めることにつながっている。
- ・特に総合における「探求的な授業」における①課題設定②情報の収集③整理・分析④まとめ・表現の「整理・分析」を行う際には、様々な“思考ツール”を他授業でも、お勧めしたい。もうひとつのお勧めは、自立的な学びとしての“協同の授業”である。

## 4 成果と課題

4月の研修会では、話題提供者の積極的な総合学習の取組事例から研修を進めていく中で多くの発見があり、今日的な課題を取り上げることの楽しさを知ることができた。総合は指導者の「教師がかかわる」「教師の交渉する力」が重要なファクターであるという言葉が印象的であった。

8月の「小中合同研修会」では、互いに情報交換を行うことで、中学校区における内容のすり合わせ及びねらいや指導計画の再検討等を具体的に進めることが確認された。また、9月の田村学調査官の講演会では、「本当の学び」と題して、豊富な経験と脳科学の視点をもとに、あらためて「総合的な学習」の重要性とスキル指導になりがちな授業からの脱却、目指すべきこれからの授業像をご指導いただき、有意義な研修会となった。

今後は、探求的な学びを目指して「思考ツール」を取り入れた授業を実践すること、各学校・各学級での自立的な学びを目指して「協同的な授業」に取り組んでいくことが課題である。